

<東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞>

「税の大切さ」

福島市立福島第四中学校

3年 高橋 巴菜

去年の1月始め、学校から家に帰ると、祖母から「お母さんが入院したよ」と知らされた。お母さんのお腹の中には私の弟がいました。体調が悪くなり、赤ちゃんの心音も弱くなり急いで手術をしないと2人とも危ない状態だった。手術は無事に終わったが弟は874gと小さな体をラップで巻かれてNICUに運ばれていった。先生からは、「未熟児のためきちんと育つかまだ分かりません」これからどうなるんだろう、ちゃんと大きくなるまで長く入院しなくちゃならない、それにお金もすごくかかるし、大丈夫なのかなと色々な心配がありました。そんな時に病院の看護婦さんが医療について色々な制度がある事を教えてくれました。私の家族の場合は、父が仕事をしていて、母が専業主婦だったので、高額医療制度の健康保険限度額適用認定証を母と弟が受けることが出来ました。この制度は国の税金の中の社会保障関係費という、医療、介護、年金、子育てなどにかかる費用をみんなで分かち合う制度です。私の弟は約5ヶ月間入院し、色々な治療を受けました。とても、驚いたのは、1か月にかかる費用が300万から400万ということでした。えっこんなに高いのにどうするんだろうと思っていました。でもその金額を社会保障費、つまり国民のみんなが納めてくれている税金で補ってもらえたのです。私が払う税金といえば消費税ぐらいですが、ほんの少しの金額でも、とても大きな事に役立っている事がわかりました。私の住んでいる町では高校生まで医療費がかかりません。これも大人の人が市県民税などきちんと納めてくれているからです。私も病気やケガをした時税金のおかげで、病院にも行ける事ができて治療が受けられる事がわ

かりました。もしもみんなが税金を納めなかったら私の弟も母も助けてもらえなかった
かもしれません。今、消費税が少し上がった事で、今までよりももっと社会保障に使う
ことができるそうです。そうなれば、助かる命もふえるし、みんなが健康で暮らす事が
できます。塵も積もれば山となる、小さな積み重ねが大きな事に役立つことが分かりま
した。今回の事で、税金の使い道についてたくさん学びました。健康であれば働く事が
できる、働くことができれば、税金を納める事ができる、税金を納めれば、みんなが幸
せに暮らす事ができる。今弟はとても元気でやんちゃです。それも国民のみんなが助け
てくれたおかげです。私達の税金で一人でも多くの人が笑顔になれるように、これから
も税金の大切さを伝えていく事が私の出来る、みんなへの恩返しだと思っています。